

## (令和6年度) 指定管理業務に関する第三者評価結果

評価日 令和8年3月26日

施設名称	交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センター（星の里いわふね）
指定管理者名	交野スターライトプロジェクトグループ（代表企業シンコースポーツ株式会社大阪支店）
施設所管課	地域振興部スポーツ青少年課
評価者	交野市指定管理者評価委員会

## 1. 指定管理者の自己評価に対する意見等

自己評価は全体として高い水準であり、業務に対する前向きな姿勢や一定の成果は認められる。一方で、利用者数目標の一部未達や収支状況については、より厳格な自己検証が求められる。また、施設の老朽化への対応に加え、河川増水や自然災害リスクへの対応、屋外施設の安全管理体制などについては、自己評価においても一層厳しく点検すべきである。

キャンプ場や自主事業、駐車場の利用促進策については、さらなる工夫の余地がある。加えて、親水施設としての特性を踏まえ、災害時の迅速な連絡体制や安全確保の徹底を図るとともに、老朽化設備の計画的な修繕・更新への対応が望まれる。

## 2. 市（施設所管課）の評価に対する意見等

市の評価は概ね妥当であるが、老朽化施設の管理水準や修繕責任の所在について、より明確な基準設定が必要である。また、河川増水や鉄砲水等のリスク対応については、指定管理者のみでの対応には限界があることから、府・市との連携強化を含めた環境整備が求められる。

評価手法については、財務状況の確認方法や評価基準の明確化など、評価の目的や手順をより整理すべきとの指摘があった。加えて、市としては「概ね適正」とするにとどまらず、必要に応じてより厳格な評価・指導を行う姿勢が重要である。

## 3. 改善に向けての指摘・提言等

設備投資については、当初計画に基づき計画的に実施することが望まれ、特に前半期間での重点的な対応が期待される。

安全管理については、天災等を想定した対応マニュアルや連絡体制の整備を一層強化するとともに、宿泊者が安心して滞在できるよう警備体制の確保に努め、利用者の安全確保を最優先とすべきである。利用促進策としては、個別施設ごとの利用者増加策に加え、施設全体を活用した一体的な事業展開や周辺観光資源との連携を検討することが望まれる。また、高齢者・障がい者・外国人利用者にも配慮した環境整備（表示の工夫、動線の改善等）を進める必要がある。さらに、指定管理事業の継続性確保の観点から、毎年度の財務状況の確認及び適切なモニタリングを行うとともに、市と指定管理者との定期的な協議を通じて、課題の共有と改善の実践を図られたい。